

指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表

【 令和3年度分 】

施設名	ひらた健康福祉センター障がい者福祉部門	施設所管課	福祉推進課
指定管理者	社会福祉法人ひらた福祉会	指定管理期間	令和3年04月01日 から 令和8年03月31日 まで

1. 総合評価

市	【優れていると評価した点】 利用者の意見を取り入れた運営を行っている。施設の維持管理についても適切に行っており、新型コロナウイルス感染症対策も適切に対応している。
	【改善すべき点】 今後も機能訓練等の実施により、利用者の身体機能の維持・向上、さらには利用者の増加を図っていく。
指定管理者	【優れていると評価した点】 養護学校からの現場実習を積極的に受け入れ、毎年2名～3名の新規利用者を受け入れている。肢体障がい者の方が利用しやすいよう、現在看護師2名、理学療法士2名の専門職を手厚く配置している。また、平田地域のみならず、出雲・大社地域からの利用ニーズにも対応している。給食は、障がいに応じた形態の食事を提供している。
	【改善すべき点】 重度の障がいのある方の利用希望が増えていることから、いっそう支援力を高めていきたい。

2. 施設利用について

総括	ホームページやパンフレットによるPRのほか、養護学校からの現場実習、保護者見学の受け入れ等を積極的に行い、安定的な利用者数の確保に努めている。
----	---

(1) 収支状況の推移（自主事業を含む）

(単位：千円)

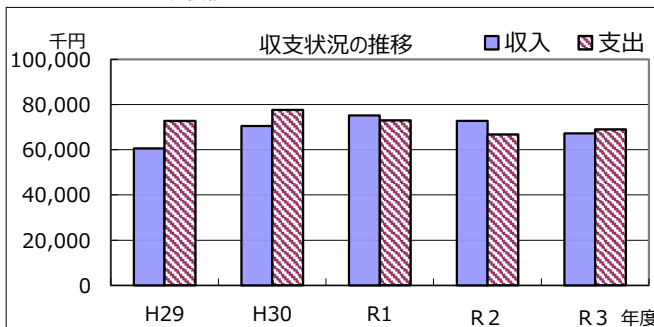
施設	項目	H29	H30	R1	R2	R3
収支	収入	60,654	70,519	75,184	72,786	67,349
	うち指定管理料	0	0	0	0	0
	うち利用料	1,434	1,407	1,414	1,417	1,360
	その他	59,220	69,112	73,770	71,369	65,989
	支出	72,843	77,638	73,032	66,750	69,014
	差引	△ 12,189	△ 7,119	2,152	6,036	△ 1,665

<上記以外の市の収入、支出>

(単位：千円)

市	項目	H29	H30	R1	R2	R3
収支	収入（使用料）	1,613	1,584	1,611	1,557	1,865
	支出	6,711	6,927	6,637	6,667	6,971
	うち修繕費	0	0	0	0	0

※大規模修繕を除く



収入増・コスト削減に関する取り組み

主な収入は介護給付費・委託料等。主な支出である人件費については障害者総合支援法に基づいた配置を行っており、障がいの重度化や高齢化に対し手厚く配置しているため、人件費の削減は難しいと考える。

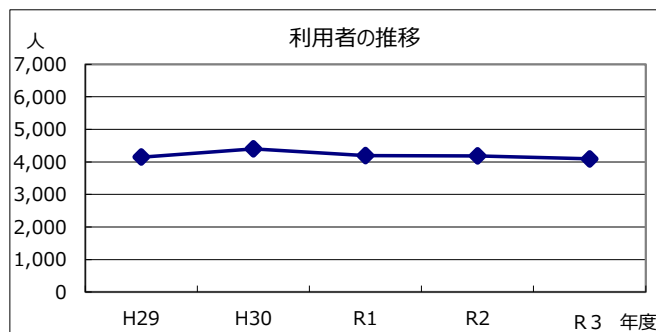
【管理経費削減の取り組み】

利用者の体調に配慮しながら、空調の温度設定を行う。電気・水道も含め使用後は複数での点検に努め、過度な利用にならないよう心掛けている。

(2) 利用者の推移

(単位：人)

利用者	H29	H30	R1	R2	R3
	4,150	4,404	4,197	4,188	4,097



利用者の増に向けた取り組み・利用の動向

ホームページによる施設PRのほか、養護学校からの現場実習、保護者見学の受け入れを積極的に行った。

(3) 利用者アンケート

アンケートの実施状況

3月1日～3月31日に実施。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス	主な意見	
23 件	①非常に良い	14 件 60.9 %	職員の対応・マナー・給食・プログラム等、22項目について意見を聞いている。概ね良い回答であった。
	②良い	2 件 8.7 %	
	③ふつう	4 件 17.4 %	
	④悪い	2 件 8.7 %	
	⑤非常に悪い	1 件 4.3 %	

(4) 住民サービス向上の取り組み・事例

- ・看護師の増員により、医療行為のある方に安定して処置を行うことができる。
- ・苦情窓口を設置し、日常的に苦情の受け入れを行った。

3. 自主事業について

総括	利用者のニーズに応え、日中一時支援事業を実施した。
実施状況	令和3年度利用者は延べ26人。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が少なかった。

4. 施設の維持管理・安全対策について

- ・設備等の保守点検を計画通り実施し、安定した施設運営ができています。
- ・危機管理マニュアルにより、緊急時の責任者・連絡体制を定めている。
- ・利用者を主体とした災害避難自主訓練を年2回実施した。

5. 職員（従業員等）の接遇・研修について

- ・年度初めに全職員に対して接遇研修（OJT）を行った。日々、接遇マニュアルに基づき、職員の接遇態度に落ち度がないか注意している。